

## 第2回香取市総合計画審議会及び 第2回香取市まち・ひと・しごと創生推進会議 議事概要

**開催日時:** 令和4年7月29日(金) 午後1時30分から3時30分

**開催場所:** 香取市役所 全員協議会室

**出席者:** 20人

### <委員>

大川裕志委員、高橋秀治委員、竹蓋伸六委員、熱田昇委員、伊藤寛委員、堂下浩委員、関謙次郎委員、圓藤弘典委員、鈴木恵子委員、鶴澤広司委員、田山歩委員、橋本富清委員、山本一郎委員、上村進委員、香取忠良委員、嶋田隆委員、山本忠宣委員、宮國健委員、井上周一郎委員、飯名眞己委員

### <事務局>

経営企画部 宮崎部長

企画政策課 小林課長 堀越班長 平山主査 結城主査 関主任主事

**報告:** (1)人口ビジョン(改訂版)について(資料1)  
(2)市民参加結果について(資料2、3、4)

**議事:** 総合計画(案)について(資料5、6)

**その他:** 香取市過疎地域持続的発展計画の策定について(資料7)

**配布資料:** 資料1:人口ビジョン(改訂版)

資料2:市民意識調査実施報告書

資料3:中学生・高校生アンケート実施報告書

資料4:かとりみらい会議実施報告書(暫定版)

資料5:第2次香取市総合計画後期基本計画(令和4年7月29日時点)

資料6:後期基本計画の施策体系(案)

資料7:香取市過疎地域持続的発展計画(素案)

## 議事内容：

1 開会 企画政策課政策班長 堀越

2 諮問

3 市長挨拶 香取市長 伊藤友則

4 会長挨拶 香取市総合計画審議会及び香取市まち・ひと・しごと創生推進会議  
会長 堂下 浩

5 報告

報告（1）人口ビジョン（改訂版）について（資料1）

報告（2）市民参加結果について（資料2、3、4）

資料1(人口ビジョン(改訂版))、資料2(市民意識調査実施報告書)、資料3(中学生・高校生アンケート実施報告書)、資料4(かとりみらい会議実施報告書(暫定版))について事務局から説明

### 報告について質疑応答

#### 【圓藤委員 発言要旨】

資料1(人口ビジョン(改訂版))の3ページで、人口の自然増減の推移について、この掲載方法ではなく、何年に何人生まれたというデータでないと人口の推移を理解しにくいと考える。なお、2021年に香取市で生まれた子どもは県庁のHPだと267人だが、この資料を見ると2021年に354人生まれているように受け取れる。コロナの影響も大きいと思うが、現在の香取市ではかなりの勢いで出生数が減少しており、人口減少に対して強い危機感を持っている。是非その危機感を共有して人口ビジョンから総合計画を作成するよう意識してほしい。

#### 【事務局 回答要旨】

資料1(人口ビジョン(改訂版))について、ご指摘のとおり市民に誤解を与えるような表現であるため、確認のうえ発表年ではなく実際に統計を取った期間に修正する。

#### 【議長 発言要旨】

出生数が上がったようにも見えてしまうので、人口減少が迫っていることを認識したうえで議論を進める必要がある。

#### 【山本(一)委員 発言要旨】

資料4「かとりみらい会議実施報告書(暫定版)」の8ページ④で第二次産業と記されているが、これは6次産業化とは違うのか。6次産業であれば農業が中心であるが、ここでは何を指しているのか。

#### 【事務局 回答要旨】

6次産業という意味も含むが、「第二次産業化」というタイトルは参加者の生の意見である。かとり  
みらい会議の中では、農業を生産だけではなく、製造加工など第2次産業に繋げていく、といった  
意見があった。

#### 【議長 発言要旨】

農業と工業を複合化させて付加価値をあげていくべきという趣旨かと思うため、その旨でご了解  
いただきたい。

## 6 議事

### 総合計画(案)について(資料5、6)

資料5(第2次香取市総合計画後期基本計画(令和4年7月 29 日時点))、資料6(後期基本計画の  
施策体系(案))について、事務局から説明

#### 議事について質疑応答

##### 【圓藤委員 発言要旨】

資料5(第2次香取市総合計画後期基本計画(令和4年7月 29 日時点))のアンケート結果では  
香取市は自然環境に恵まれているという意見が多くあるが、私が日頃、子どもたちを田んぼや山に  
連れていくなかで、ザリガニやメダカのような水生生物が年々取れなくなっていると感じている。  
子どもたちが自然と触れ合う機会が減り、自然や生態系保護の大切さに触れないまま大人になる  
ことにつながるのではないかと不安に感じている。

この対策として、例えば香取市に残されている自然の中に散歩道を設け、子どもや高齢者が散  
歩できるような環境を整備できないかと考えている。県では来年度以降、自然保育の認証制度を  
計画中であり、森のようちえんのような活動に対して県が認証し、そこに補助金を出していくという  
案がある。是非、自然環境を維持しながら子どもも高齢者も気軽に散歩ができるような環境づくりを  
考えていただきたい。自然環境の維持にはお金がかかるのも承知しているが、自然を活かして子  
どもや高齢者の生活に彩りを与えるような政策も是非こういった計画の中に盛り込んでいただきた  
い。

##### 【議長 発言要旨】

圓藤委員の提案を施策体系で考えると大綱2「生活・環境の向上」と大綱5「都市基盤の整備」に  
分かれ、行政としてはどうしても縦割りになってしまう。そこを横でつなげるような施策を後期計画  
では具体的に検討していただきたい。

##### 【竹蓋委員 発言要旨】

資料6(後期基本計画の施策体系(案))の 2-9「人権」について、人権では権利擁護を行わない  
といけないと考えているが、権利擁護という具体的な文言は 3-5「障がい者福祉」に入っている。し  
かしながら、権利擁護は、障がい者のみならず、高齢者など全ての人に関わることである。この点  
から 2-9「人権」の担当部署に市民協働課、市民課のほか社会福祉課の参加も必要ではないか。  
また、広い意味では成年後見などで生活に困っている方も「人権」に関連するので、市民に対する

啓発的なものだけでなく実際に業務を行っているところも担当課として記載すべきではないか。

#### 【事務局 回答要旨】

人権の担当課は主に人権に関する問題を主として扱う課ということで、市民協働課と市民課を担当部署としている。指摘いただいた点は、いわゆる地域福祉の分野に該当し、地域福祉課また社会福祉課の仕事ということで整理している。実際には、同じ事象に対して福祉分野の視点と人権分野の視点の両方から議論することになるが、ここでは人権分野の視点からの立て付けとして、2課を記載している。

#### 【橋本委員 発言要旨】

春の市長選で争点になったおみがわこども園の案件について、一市民として感じたことを伝えたい。現行の広報の施策は、ウェブサイトのアクセス数において目標達成となっているが、このままでよいか。市民を混乱させた要因のひとつに、ウェブサイトのわかりづらさがあったのではないかと。国の各省庁や近隣の市町村などの優れたウェブサイト参考に、デザインやトピックスの色分けなどを取り入れるなどし、ウェブサイトからの情報取得性を高め、市政参加を促す必要があるのでは。また、SNSの時代だからこそ、情報発信には迅速さが求められると思う。

#### 【事務局 回答要旨】

説明いただいた内容は十分担当に伝える。実際のところ香取市のホームページは古いスタイルであり、観光のページも面白みに欠ける内容となっている。この点についてどのように更新していくか、内部では検証し始めている。具体的には、地域プロモーションを進めており、そのなかでSNSを含め、情報発信について全て見直すことから始めようとしている。

#### 【圓藤委員 発言要旨】

橋本委員の説明にあるおみがわこども園について、清水福祉会の理事をしていることから、申し上げる。

当該案件については、何が問題なのか理解できないまま市長選となり、多くの市民が知る所となり更に混乱したというのが当事者側の認識である。ホームページが分かりにくいという問題点があるにせよ、公募するサイトもあり、市の公開したルールに則って手続きしており、私自身はなぜこれが問題となったのかが分からない状況であった。市長選後には市のホームページで当該案件の説明が閲覧できるようになっている。ただ、橋本委員も指摘しているとおり、ホームページが分かりにくいという問題があるので、見やすく分かりやすい広報を充実させ、情報公開を進めていただきたい。

#### 【議長 発言要旨】

橋本委員の説明にもあるように、トピックスの色分けは、発達障害の方への情報伝達にも有用と  
の見解もある。このような工夫をしながら市民に正しい情報が速やかに伝わるような広報について、  
施策に盛り込むことを検討いただきたい。

### 【鶴澤委員 発言要旨】

資料5(第2次香取市総合計画後期基本計画(令和4年7月 29 日時点))の 49 ページ、財政状況の見通しで、歳出の普通建設事業費が令和8年度に 10 億円程度突出しているが、これは香取市で何か大きな事業を予定しているということか。

また、地域プロモーションについて担当部署が秘書広報課と議会事務局だけでよいか。県での私の経験を申し上げますと、観光は農業と連携していかないとネタ切れになるので、その点を留意してほしい。また、広報は行政情報をいかに正しく市民に知らせるかという仕事を中心であり、人に来てもらうために発信する地域プロモーションとは相対するところなので、この点も留意しながら取組を進めてほしい。

### 【事務局 回答要旨】

令和8年度に普通建設事業費が突出しているのは、佐原中学校の長寿命化の改修工事と市役所本庁舎の改修工事が重なっていることが要因である。なお、数値については 49 ページの注意書きにもあるように、現在、財政見通しを作成中であるため、今後、差し替える予定である。

地域プロモーションは、庁内横断的なチームを立ち上げており、子育てのジャンル、観光・産業のジャンル、福祉・健康のジャンルなど、3つほどのジャンルを中心的にプロモートすることを考えている。

### 【議長 回答要旨】

広報について、東京情報大学の学生を佐原に連れていった際の意見として、学生から見ても香取市の観光に関する SNS の発信が弱いという意見があった。観光は香取市の強みであるため、ぜひ、強く発信していただきたい。

### 【竹蓋委員 発言要旨】

竹蓋委員提出の「後期基本計画施策への提案」について、地域包括、障がい、生活困窮など複雑化している市民相談の状況について、また、その解決策の一つとして、DX 対応に関連し民間と共有できるクラウド福祉システムの例を中心に、竹蓋委員より説明

### 【事務局 回答要旨】

ご指摘のとおり、複雑化する課題に対応すべく、施策を組み合わせている。例えば、資料6(後期基本計画の施策体系(案))の 3-4「子育て」を、「子育て支援」「保育環境」「児童館・児童クラブ」の3つの小施策に分けている。保育園に関連するものが「保育環境」、児童館・児童クラブに関連するものを「児童館・児童クラブ」とし、それ以外の子育て関連については「子育て支援」という整理をしている。保育園、児童館・児童クラブ以外を「子育て支援」という一つの小施策にしているのは、子育てに関する課題を包括的に取り扱うことを意図しているものである。

3-5「障がい者福祉」の「自立支援」は、自立支援法に関連する従来のサービスをここに一括して整理している。それ以外の権利擁護及び障がい者を取り巻く環境整備等を「権利擁護・環境整備」とし、これまで県が主体となり実施されていた業務について、今後どのように市が対応していくかを担当課で検討するためにこのような小施策の分け方をしている。

3-1「地域福祉」は、まず重層的支援を取り出し、それ以外で地域福祉としてどのようなことをするのかを担当課が検討するように小施策を「地域福祉」と「重層的支援」に分けている。

**【圓藤委員 発言要旨】**

例えば子育て分野で民間園が営業する場合、特に公定価格の申請業務は複雑で引継ぎが難しい。これをクラウド化などでデータの安全性、業務の効率化を図ってほしい。

**【事務局 回答要旨】**

手続きの簡素化について担当課と十分検討していく。ただし、フォーマットは国が作成しているので、それも踏まえて対応を検討していく。

**【議長 発言要旨】**

6-6「行政運営・DX 対応」とあるので、健康・福祉の側面も DX 対応の大きな一つの柱として取り扱っていただきたい。

⇒原案のとおり承認

## 7 その他

### 香取市過疎地域持続的発展計画の策定について(資料7)

事務局より説明

#### その他について質疑応答

**【田山委員 発言要旨】**

過疎化で議論になる公共交通について、固定概念にとらわれず、様々なアイデアを取り入れていくのが良いと考える。例えば、Uber のように同じ目的地に行く人を自家用車で運び、そのお礼として地域で使える香取市独自の通貨を発行するなど、これまでにないアイデアを積極的に出すのが良いと考えている。また、デジタルトランスフォーメーションの論点では、サービスの受け手である地域住民がタブレット等の端末を使えないと成り立たないため、まずは端末を使える土台を先に作る必要がある。この点について、再度、検討してほしいと考える。

**【議長 発言要旨】**

国もライドシェアの規制を見直す動きがある。是非このような論点も含めてご検討いただければと思う。

**【高橋委員 発言要旨】**

資料6「後期基本計画の施策体系(案)」の 4-6「歴史・文化・芸術」の文化財に関して、今、埴輪、刀剣、鏡などが城山公園の古墳時代の遺跡で出土している。もっとアピールしていただき、観光の一つの目玉にしたい。小学生・中学生が文化財を一度は見学する機会を作っていただきたい。

**【事務局 回答要旨】**

教育委員会では昨年度から文化財の活用計画策定の準備を進めており、今年度中にまとまる予定である。香取市には大塚山古墳などの古い古墳も多く、国の認可や補助事業を使いながら、文化財の活用の具体的な段階に入るところである。

**【圓藤委員 発言要旨】**

文化財に関して、香取市には未発掘の文化財が香取市内に多く埋まっている。私の近所でも奈良時代の布目瓦が出てくる。このような未発掘の文化財の調査等を進めていただきたい。

また、資料7「香取市過疎地域持続的発展計画(素案)」の21 ページ2「移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」について、空き家を探している複数の人から希望の物件がなかなか見つからないとの相談を受けている。そのため、移住したい、香取市に戻ってきたいと考えている人に対して、移住に対する補助のような施策を考えていただきたい。

最後に31 ページ7「子育て環境の確保、高齢者等の保護及び福祉の向上及び増進」に関して、佐原グレイスこども園は資材の高騰、資金不足等の問題があり、来年4月のオープンは難しいという見通しかとは思うが、何とか実現させていただきたい。

**【事務局 回答要旨】**

学芸員によれば、この地域で奈良・平安・鎌倉時代といわれる文化財は、権威ある文献等が少ないことから、確固たる正式なものがないとのことである。ただ、香取市には阿玉台貝塚のように古墳の新旧を判断する際の全国の基準になっているようなものもあるので、引き続き、担当課で調査対象の洗い直しを進めていく予定である。

**【飯名委員 発言要旨】**

空き家バンクに初期から関わっているが、登録される家の多くは古くボロボロの状態だった。そこで8月2日に市と協定を結び、不動産業者やリフォーム会社が物件を買い、住める状態にしてから希望者に紹介することができるようになった。賃貸・リフォームの補助については実現を望んでいる。

**【熱田委員 発言要旨】**

資料1「人口ビジョン(改訂版)」の8～10 ページにあるように、20～39 歳の大幅な転出超過がはっきりしているので、香取市としてはそこに対する施策が一番大事ではないか。毎年のように学校が統廃合されていき、それにより地域のつながり等も減少している。

**【事務局 回答要旨】**

委員の方の共通認識としては、具体的な策をとらなければならないというものであると考えており、今回はとにかく施策を実行することが重要と考えている。この点も踏まえて、今後も委員の方から幅広い意見をいただき、対処療法を含めて検討していく予定である。

**【議長 発言要旨】**

本日の意見以外で、過疎化対策事業の様々なアイデアについて、8月5日金曜日までに具体的な事業案等があれば事務局に出していただきたい。

## 8 閉会

以下、事務局の司会進行により、閉会。

以上